

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年6月10日

人工呼吸器治療中のニコチンパッチ貼付の効果：無作為抽出二重盲検プラセボコントロール多施設トライアル

## 【松崎雑感】

症状があって確定診断された新型コロナ感染者の喫煙率が一般人口よりもずっと低いという「有症状選択バイアス」を補正しないために生まれた「スモーカーズパラドックス」を真に受けて、ニコチンに新型コロナを緩和する作用があるのではないか、それなら、重症患者でもニコチンパッチを貼れば、死亡率が減るかもしれないと「早とちり」したトライアルの成績です。結果は当然×でした。無症状者率が極めて高い新型コロナ感染症では、人口代表集団をプロスペクティブに観察しなければ、ニコチン摂取と感染リスクの関連はわかりません。事実、それを行った研究では、喫煙（＝ニコチン摂取）が新型コロナ感染リスクを50%以上増加させていたことが証明されています。

# 人工呼吸器治療中のニコチンパッチ貼付の効果：無作為抽出二重盲検プラセボコントロール多施設トライアル

Labro G, Tubach F, Belin L, et al. **Nicotine patches in patients on mechanical ventilation for severe COVID-19: a randomized, double-blind, placebo-controlled, multicentre trial** [published online ahead of print, 2022 Jun 9]. *Intensive Care Med.* 2022;10.1007/s00134-022-06721-1. doi:10.1007/s00134-022-06721-1

**要旨：**疫学調査では、新型コロナ有症状感染者の喫煙率が低いことが報告されている。ニコチン投与が重症者の予後改善に有用かどうかを検証。

新型コロナ感染により人工呼吸器治療中の患者にニコチンパッチ（14mg）あるいはプラセボパッチを貼付して予後を検討した。218名が解析対象。106名が実薬、112名がプラセボ。割付は喫煙歴にかかわらず無作為。

**結果：**28日以内の死亡率に有意差なし（実薬群30%、プラセボ群31%）。60日以内死亡率、抜管率、人工呼吸器治療離脱継続期間、人工透析率、昇圧剤治療率等に有意差なし。副作用に有意差なし。

**結論：**人工呼吸器治療中の重症患者に対するニコチンパッチの予後改善効果は見られなかった。

